

事業系一般廃棄物減量等計画書の記入例

様式第1号の2 (第2条の3関係)

(表面)

事業系一般廃棄物減量等計画書

所有者の住所・氏名(名称)を記入してください。
押印は不要です。

00年00月00日

堺市長 殿

住所(所在地) 堺市堺区南瓦町〇番〇号

封筒の宛名タックシール内右下に記載の(No.****)を名称の後に記入してください。

フリガナ
氏名(名称) 〇〇不動産(株) 関西支社
(代表者氏名) 代表取締役社長 堺 太郎

電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

堺市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例第12条第4項及び堺市廃棄物の減量化及び適正処理に関する規則第2条の3第2項の規定により、次のとおり本計画書を提出します。

業種名を記入してください。
(例)製造業・卸売業・小売業・医療・運輸業・倉庫業・金融業・保険業・宿泊業・教育・公務・その他(具体的に業務内容を記入ください。)

住居部分以外の延床面積を記入してください。(小売店舗については、大規模小売店舗立地法に基づく面積。)(2ページ参照)

事業用大規模建築物の概要	名称	堺〇〇〇ビル No.**** (業種名)					
	所在地	〒590-0000 堺市堺区〇〇町〇丁〇番〇号					
所有者	堺 太郎	竣工年月日	平成12年 3月 4日				
		床面積の合計	5,500㎡(地上 3階・地下 1階)				
用途	床面積	数	従事人数	用途	床面積	数	従事人数
事務所	1,500㎡	1社	10人	宿泊施設	㎡		
店舗	3,500㎡	3店	30人	集客施設	㎡		
工場	㎡			学校	㎡		
倉庫	500㎡						
医療・福祉	㎡						

焼却対象ごみ及び再利用対象物ごとに、保管場所の面積等を記入してください。

保管場所		ごみ	再利用(再資源化)対象物
	保管場所	2箇所 10㎡	1箇所 5㎡
	構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
	容器	0.6㎡コンテナボックス 5個	0.6㎡コンテナボックス 2個
	収集頻度	毎日(年始を除く)	週2回

廃棄物管理責任者	フリガナ	
	氏名	電話番号
	サカイ ハナコ	
	〇〇課 堺 花子	(〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

所属部署名の記入をお願いします。

建物全体の廃棄物の管理に関して所有者より選任された人。(フリガナも必ず記入してください。)

記入上の留意事項

この計画書は、廃棄物の排出の抑制及び再利用並びにその適正な処理のために提出していただくものであり、今年度計画においては前年度実績に比して各項目に改善がうかがえるよう記入のうえ目標達成に向け、ご努力願います。

※記入単位はtです。数値は小数第一位まで記入してください。

総排出量(トン)のうち、廃棄し、焼却した重量を記入してください。

総排出量(トン)のうち、再利用・再資源化した重量を記入してください。

分別できない場合は、一括して「OA用紙・その他の紙」欄に記入してください。

必ず一般廃棄物収集運搬業者を記入してください。
また、自己処理・自己搬入の場合は自己処理または自己搬入と記入してください。

(裏面)

前年度実績						
	00年度(00年4月～)		00年3月)			
	廃棄した量 (トン/年) A	再利用(再資源化)量 (トン/年) B	総排出量 (トン/年) C (A+B)	資源化率 (%) (B/C)×100	一般廃棄物収集運搬業者 又は持込先	
紙類	新聞	2.5	2.5	100%	〇〇紙源	
	雑誌	1	1	100%	〃	
	段ボール	12	12	100%	〃	
	OA用紙・その他の紙	0.5	5.5	6	92%	〃
	機密書類	2	6	8	75%	〃
(小計) ①	2.5	27	29.5	92%		
生ごみ類	厨芥類	8.5	8.5	%	〇〇収集運搬業者	
	魚あら	5.4	5.4	100%	(有)魚あら	
	野菜くず	2.3	2.3	100%	〇〇環境サービス	
	(小計) ②	8.5	7.7	16.2	48%	
その他	木くず	0.5	1.5	2	75%	(株)再資源〇〇、堺市クリーンセンター
	繊維くず	1.5	2.5	4	63%	(株)〇〇繊維、堺市クリーンセンター
	雑ごみ(燃やすごみ)	18		18	%	(株)〇〇興業
	(小計) ③	20	4	24	17%	
総合計 (①+②+③)	31	38.7	68.7	56%		

再利用・再資源化に適さない紙くずやポロ布など、市の清掃工場に搬入した重量を記入してください。
雑ごみ=再利用・再資源化ができない一般廃棄物。

必ず一般廃棄物収集運搬業者を記入してください。
また、自己処理・自己搬入の場合は自己処理または自己搬入と記入してください。

当該年度計画						
	00年度(00年4月～)		00年3月)			
	廃棄した量 (トン/年) A	再利用(再資源化)量 (トン/年) B	総排出量 (トン/年) C (A+B)	資源化率 (%) (B/C)×100	一般廃棄物収集運搬業者 又は持込先	
紙類	新聞	2	2	100%	〇〇紙源	
	雑誌	0.8	0.8	100%	〃	
	段ボール	10	10	100%	〃	
	OA用紙・その他の紙	0.4	4.8	5.2	92%	〃
	機密書類	1.6	5	6.6	76%	〃
(小計) ①	2	22.6	24.6	92%		
生ごみ類	厨芥類	3.4	3.4	%	〇〇収集運搬業者	
	魚あら	5.3	5.3	100%	(有)魚あら	
	野菜くず	2.7	2.7	100%	〇〇環境サービス	
	(小計) ②	3.4	8	11.4	70%	
その他	木くず	0.4	1.2	1.6	75%	(株)再資源〇〇、堺市クリーンセンター
	繊維くず	1.4	2.3	3.7	62%	(株)〇〇繊維、堺市クリーンセンター
	雑ごみ(燃やすごみ)	16		16	%	(株)〇〇興業
	(小計) ③	17.8	3.5	21.3	16%	
総合計 (①+②+③)	23.2	34.1	57.3	60%		

減量のために実施していること。

両面コピーの励行と電子メールの活用。業務用生ごみ処理機を導入して、ごみの減量に努めている。

減量のために計画していること。

各部署やテナントごとに廃棄物担当者を設置し、適正な分別排出に努める。ごみの減量や資源化に関する社内会議、社内研修を定期的実施する。

ごみの減量・リサイクルに対する取り組みなどを具体的に記入してください。